JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会

令和5 (2023) 年度

音声合成 関連製品の動向調査

委員会による調査

実施： JEITA 音声入出力方式標準化専門委員会
https://www.jeita-speech.org/survey/survey-top.html

調査実施：2023年12月末時点

発行：2024年10月

提供者名(ベンダ名)	URL	委員会コメント
A-4 webサービス		
AWSジャパン株式会社	https://aws.amazon.com/jp/polly/	音声合成のクラウドAPIサービス「Amazon Polly」。数十の言語で高品質で自然な人間の声を展開。
CoeFont	https://coefont.cloud/	クリエイターのためのAI音声プラットフォーム。1万種類以上の音声が利用できる「Text to Speech(文章読み上げ)」のほか、リアルタイムで声を変換する「Voice Changer」など。
Google	https://cloud.google.com/text-to-speech	音声合成のクラウドAPIサービス「Text-to-Speech AI」。Googleの最先端AIテクノロジーを活用したAPIを利用して、テキストを自然な音声に変換可能。
IBM	https://www.ibm.com/products/text-to-speech	音声合成のクラウドAPIサービス「IBM Watson Text to Speech」。既存のアプリケーション内またはWatsonx Assistant内で、様々な言語や声で書かれたテキストを自然な音声に変換。
LINE WORKS株式会社	https://line-works.com/ai-product/aicall/	対話応答を実現するための電話応対AIサービス「LINE WORKS AiCall」。音声認識、会話制御とともに、音声合成の機能を提供。
Microsoft	https://azure.microsoft.com/ja-jp/products/ai-services/text-to-speech	音声テキスト変換、テキスト読み上げ、音声翻訳、話者認識など、業界をリードする音声機能を提供する「Azure AI音声」。
NTTドコモ (旧・NTTレゾナント)	https://aismiley.co.jp/product/ai-suite/	テキスト情報の解析に加えて音声・映像情報や人の知性・完成を踏まえた解析を可能にする様々なAI技術をプライベートAPIとして利用できるAIプラットフォームAPIサービス「AI suite」。
OpenAI	https://platform.openai.com/docs/guides/text-to-speech	OpenAIのTTSモデルによる音声合成API。
stand.fm	https://voicespeaker.ai/	AIによるテキスト読み上げとボイスチェンジの機能を提供するサービス「VoiceSpace」。
Vidnoz	https://jp.vidnoz.com/	無料のAI動画作成サービス「Vidnoz AI」。AI音声読み上げ機能によりナレーションを作成可能。
株式会社アニモ	(Cloud Text to Speech) https://www.animo.co.jp/cloud/tts/ (FineSpeech) https://www.animo.co.jp/for_biz#cat06	ANIMO Cloud Text to Speech（Web UIサービス、WebAPIサービス）を始めとして、音声合成 FineSpeech（サーバ向けライブラリ、組み込みシステム向けライブラリ、個人音声合成（個人音声波形辞書）作成）などを展開。
株式会社 さん	https://ondoku3.com/	音声読み上げソフト「音読さん」。商用利用可能。無料プラン、有料（月額）プランあり。

提供者名(ベンダ名)	URL	委員会コメント
A-5 音声編集ツール製品		
CeVIOプロジェクト	https://cevio.jp/	「CeVIO（チェビオ）」とは、UGC（User Generated Contents、ユーザー生成コンテンツ）を支援し、新しいエンターテインメントを創出するために生まれたプロジェクトです。 魅力的なキャラクターを生み出す映像・音楽のクリエイター集団と、豊かな感情表現が可能な音声合成技術・歌声合成技術を持つ技術者集団の融合によって生まれました。
株式会社テクノスピーチ	https://www.techno-speech.com/	最先端の音声合成・歌声合成技術を様々な製品・サービスに搭載できる形でご提供しています。
iMyFone	https://jp.imyfone.com/	250個以上のAI音声フィルタを使用してリアルタイムに声を変えるボイスチェンジャーソフトMagicMicと、画像/PDF/テキストを音声に変換でき、70種類以上の言語に対応するAIテキスト読み上げソフトVoxBoxを提供。
ITVOICE	http://itvoice.starfree.jp/	2022年にいたほび氏が発表した読み上げソフト。VOICEVOX UIを用いており、初心者でも簡単に操作が可能。 「ナイアル・プロト」と「イタノカ・テスト」の２キャラクターを搭載。
SHAREVOX	https://www.sharevox.app/	学生エンジニアのYちゃんが開発したPC用の音声合成ソフト。自分の声を元に、Google Colaboratoryを用いて自由に話せる音声ライブラリを作ることが可能。
STUDIO NEUTRINO	https://studio-neutrino.com/	ニューラルネットワークを活用した無料の音声合成（ボーカルシンセサイザー）ソフト。
TALQu	https://haruqa.github.io/TALQu/	2021年にHaruqa氏が発表した深層学習系読み上げソフト。
Wity有限会社 （うぃてぃ）	(製品) https://gui.jp.net/textalk/ (提供社) https://www.wity.jp/	日本語の文書を読み上げするWindowsソフト「テキストーク」を公開中。OpenJTalk、Microsoft Haruka Desktop (SAPI5)に対応。
Video Puppet Limited	https://www.narakeet.com	オンライン上で利用できる日本語音声合成・ビデオ制作付ソフト。
シロワニさん (COEIROINK)	https://coeiroink.com	シロワニさんによって個人で開発されているAIトークソフト。 ユーザがMYCOEIROINKとして、音声ライブラリを作成できる。
ソースネクスト (音読のプロ)	https://www.sourcenext.com/product/0000013218/	テキストを自然な音声で読み上げるソフト。AITalkエンジン(のぞみ、おさむ)を搭載。
高電社 (WorldVoice)	https://www.kodensha.jp/index/products/wvoice/	WorldVoice 日中英韓2（パッケージ製品）。 4カ国語に対応した音声読み上げソフト。VoiceTextを搭載。

提供者名(ベンダ名)	URL	委員会コメント
ヒホ（ヒロシバ） （VOICEVOX）	https://voicevox.hiroshiba.jp/	無料で使える中品質なテキスト読み上げ・歌声合成ソフトウェア「VOICEVOX」
みちあき （棒読みちゃん）	http://chi.usamimi.info/Program/Application/BouyomiChan/	漢字を含む日本語の文章を音声合成で読み上げるツール。IMEで漢字をひらがなに変換し、AquesTalkで音声合成する。Windowsで動作。
オープンソース	https://github.com/litagin02/Style-Bert-VITS2	入力されたテキストの内容をもとに感情豊かな音声を生成するBert-VITS2のv2.1とJapanese-Extraを元に、感情や発話スタイルを強弱込みで自由に制御できるようにした「Style-Bert-VITS2」。新しい音声を学習させることも可能。
オープンソース	https://github.com/RVC-Boss/GPT-SoVITS	2024年に公開された音声合成モデル「GPT-SoVITS」。5秒の声のサンプルから瞬時のテキスト読み上げを実現するZero-shot TTSや、1分のトレーニングデータでモデルをファインチューニングして声の類似度や肉声感を改善するFew-shot TTS、学習データの言語とは異なる言語の音声を合成できるクロスリンガルTTSをサポート。WebUI Toolsも統合され、初心者でも利用可能。

提供者名(ベンダ名)	URL	委員会コメント
A-7 その他 製品･サービス（カテゴリ分類困難を含む）		
NTTデータ先端技術株式会社	https://www.intellilink.co.jp/business/software/voistage.aspx	小規模なIVRシステムから、多回線の大規模コールセンターシステムまで、さまざまな環境や構成に対応する、多機能テレフォニーボックス
アルカディア	https://www.arcadia.co.jp/	日本語音声合成ソフトウェア「SpeeCAN（スピーキャン）」を活用した防災・減災ソリューションを始めとして、電車や構内アナウンス、防災行政無線、TVゲーム、その他のアプリケーションなどを提供。